愛媛文教月報

題字　日々是好日　　**揮毫**　今治・越智教育会ＯＢ　**村上　光永**　　解説は３面

発行所
(公財)愛媛県教育会
〒790-8545
松山市祝谷町１丁目５－33
エスポワール愛媛文教会館内
電話　(089)945－8644
FAX　(089)945－1459
E-mail　info@ehime-kyouikukai.jp

(2)学校紹介　八幡浜中学校
(3)地区教育会だより(内子)
ローカルトピックス
(4)(5)特集「本とわたし」
(6)教育長さんこんにちは(西予市)
(7)九十九歳・八十歳慶祝者
(8)ふるさとスケッチ
地区教育会会員数

「居場所」と「出会い」

四国中央市立三島東中学校
元校長　**遠藤　誠**

私は、退職後７年間、四国中央市スクール・ソーシャル・ワーカーとして勤務し、中学校６校の相談室、校内サポートルーム(１校のみ)、４つの教育支援センターを巡回し、不登校問題への対応にあたりました。各中学校の校長、関係教職員、サポートルーム担当教員、相談員及び各教育支援センター指導員と、各々の不登校の現状を踏まえた対応を相談したり、関係機関との連携を確認したりして、支援体制の充実を図りました。また、それぞれに通う子どもたちの理解や人間関係づくりを意識しつつ、体験活動への参加や希望する子どもへの学習支援を行いました。

子どもたちは、自ら選んだ場所で、活動内容を自己決定し、意欲的に取り組んでいました。中学３年生になるとたくましさが増し、進路や将来の夢を生き生きと語るまでに成長していました。そこには常に、子どもたちを丸ごと受容し、個に応じた支援をし続けていた、それぞれの「大人たち」の熱い思いがありました。私もその思いに触れる度、多くの気付きや学びを得ました。と、同時に、不登校の要因が、個人・家庭・学校等、複雑にからみ合い、対応が難しい場合も少なくないとも感じていました。

文部科学省は、不登校への対策として、「学校風土の見える化」を打ち出し、学校の風土(雰囲気)を見直し、授業の満足度や、不安や悩みを相談できる先生がいるか等、学校の過ごしやすさの現状を把握し、改善するよう促しています。

私が出会った子どもたちは、心に様々な思いを秘め、「挑戦」していたと思います。そして、安心できる居場所で、信頼できる大人たちと出会い、できる事を増やして自信を深め、「未来」に向かって歩む力を蓄えていったのだろうと感じています。

その成長の過程に、わずかでも関われたことは、私の大きな喜びであり、かけがえのない多くの出会いに心から感謝しています。

―略　歴―
(えんどう・まこと)
昭和53年　神戸市立塩屋中学校　新採
昭和59年　川之江市立南中学校　新採
平成10年　西条教育事務所　指導主事
平成18年　西条教育事務所　管理主事
平成21年　東予教育事務所　所長
平成24年　四国中央市立三島東中学校　校長
平成27年３月　定年退職
平成29年　四国中央市スクール・ソーシャル・ワーカー
(～令和５年)

聞響（ぶんきょう）

大地震、豪雨、そして酷暑…。ここ数年、自然界では生命を奪う甚大な災害が起こっている。中でも、地球温暖化が大きな要因となっていることが多い。身近な所にもその被害が及んでいる▼教職の退職を機に、農業に携わっている。一昨年、米を栽培して高温障害に見舞われ、収穫が例年の半分以下の状況を体験した。日照り続きの水不足にも頭を悩まされ、加えてカメムシや猪による被害も重なった。どれも、温暖化や異常気象の影響だと考えられる▼先日、ある対話の中で、「普段汗をかかないけど、農作業の汗は他と違って気持ちいい」という話が上がった。草刈りをしていて振り返ったとき、きれいに刈り取られた地面から、目に見える達成感を味わうことができる。そんなときの汗は、本当に爽快である。まさしく教育の場も同様ではなかろうか▼小さい頃から祖母に「一粒の米は血の一滴」と刷り込まれて育った。まだ本格的な農業従事者とは言えない。しかし、米一粒の重みを感じつつ、今年は新しい品種の米で栽培増を企てているが、結果やいかに…▼厳しい自然環境と向き合う中で、次は何を育てようかと真剣に考えるのが楽しみの一つ。生き物と対峙し、作物を育てる営みの難しさとやりがい、時間をかけて育てる成就感を繰り返し味わっている。

ひとこと

クマに思う

愛媛県小中学校教頭会
会長
渡部　憲悟

年間を通じて「いい加減」に温暖なはずの愛媛県民が昨今の暑すぎる夏に恋い焦がれるのは、きっと涼しさかと思います。「憧れるのはやめましょう」と言われても、これだけの猛暑が続くと、かき氷ではたまらず、避暑地への憧れがちょいちょい顔をのぞかせます。

今年度の全国公立学校教頭会研究大会は、地元の方いわく、「去年より涼しい」北海道札幌市で行われました。私が参加させていただいたグループ協議でいきなり飛び出した話題は、何と「クマ」。そう、あの熊です。北海道は言わずもがな、秋田・東京・静岡と、同じグループの副校長・教頭が次々と熊出没の現状、被害、対策等を熱く語るのです。

グループ協議の後、分科会講師からは、「トラブルシューター（もめ事を解決する人）として、例えば「熊問題」という難題を解決していくことは、教頭の専門性のコア（中核）である」と、この熊の話題を取り上げた指導助言がありました。

実際、子どもたちを熊の脅威から守り、安心・安全に登下校してもらうため、学校が地域に支援を要請し、そこから学校支援組織のような形が新たにできて、熊の面以外でも支援してもらって助かっているという話が、グループ協議の中でもありました。

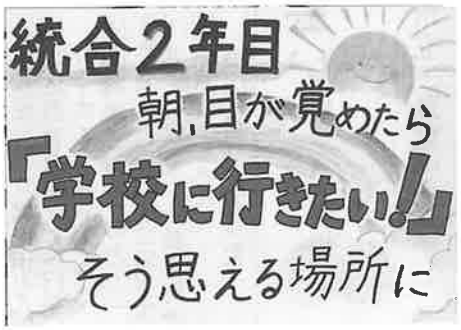
子ども、保護者、地域の方々、一人として同じでない人々が集う学校という場所には、言わばトラブルは付きものです。教頭として、トラブルをチャンスに変えることができる「教頭力」を身に付けていくことが、今後の一つの命題となった札幌大会となりました。

（松山市立勝山中学校教頭）

学校紹介 No.27

八幡浜市立八幡浜中学校

主体的に考え、判断し、行動できる自律した八中生



昨年４月、愛宕中学校、松柏中学校、八代中学校の三つの学校が統合して八幡浜中学校が誕生しました。統合２年目を迎えた今年の本校の教育目標は、「『共に考え　共に行動』～主体的に考え、判断し、行動できる自律した八中生～」です。キーワードは、「自律」です。生徒が様々な課題を解決するとき、誰かに指示されて行動するのではなく、どうすれば解決できるかを主体的に考え、判断し、行動することができる自律した八中生の育成を目指しています。

生徒会本部役員は、八幡浜中学校を「朝、目が覚めたら『学校に行きたい！』そう思える場所に」という思いをもって活動しています。その思いを形にするために、よりよい学校を自分たちでつくろうとする様々な取組を始めています。

その一つに「八中知恵袋」があります。これは一人１台端末を活用し、普段の学校生活で困ったこと、もっとこうした方がよいというアイデア、勉強で分からないことなど、自分の思いや考えを書き、課題を解決する知恵を出し合うホームページです。八中生の意見を幅広く受け止めるデジタル版の目安箱とも言える取組です。

本部役員は、ＩＣＴ支援員さんにも協力を求めながら、ＡＩの活用も含め、誰もが安心して自分の思いや考えを全校生徒に届けられる仕組みを検討し、数か月にわたってホームページと企画書を練り上げました。その後、本部役員は校長室を訪れ、企画の目的や進め方を説明して実施の許可を得ました。続いて、参加者を限定した試行期間を経て、よりよいものへと改良を加え、全校生徒が参加する「八中知恵袋」が実現しました。

このように、よりよい学校を自分たちでつくるために、生徒自身が発想し、話し合い、形にしようとする生徒、つまり「自律した八中生」が育ってきています。そして、これが新たな伝統へと育っていくと信じています。

（校長　河野　靖）

題字に寄せて

日々是好日（ひびこれこうじつ）

今治・越智教育会
ＯＢ
村上　光永

この言葉は、中国唐時代の禅僧「雲門文偃（うんもんぶんえん）」が残した禅語が元のようです。

禅学大辞典等の読み方では「にちにちこれこうにち」が多いそうですが、「にちにちこれこうじつ」とも読まれます。現代では「ひびこれこうじつ」と読まれることが多いようです。

今日は二度とない一日で、今を大切に生きることが大事だという教えです。

茶席の掛け軸でもよく見かけます。「その時々の出会いや空間を大切にし、心を込めてお茶を点てる」という心得のようです。

私も「日々を大切に」と思って生きたいと思いますが、課題です。この書を見ながら、穏やかによい一日を過ごしたいと思います。

内子教育会　地区教育会だより

内子教育会　研究会

内子教育会
会　長
大宇根秀夫

内子教育会では、コロナ禍で一時休止した年もありましたが、毎年研究会を開催し、内子の教育や文化、歴史について学ぶ機会を設けています。

令和５年度は、「内子尚武会と内子の生んだ偉人たち」と題して、町並・地域振興課学芸員小野翠氏を招き講演していただきました。内子尚武会（明治28年創立）は、内子出身の多くの若者を国内外へと羽ばたかせています。このような青少年の自主的な教育組織が存在していたことを知り、内子の教育の源流に触れた思いでした。

令和６年度は、同じ学芸員の小野氏に、「内子の歴史町づくり」について講演していただきました。内子に残る歴史的な町並みを生かした町づくりを行ってきたこれまでと、これからの取組について学びました。

そして昨年度は、戦後80年ということで、地元の戦争体験者へのヒアリング調査等を行いました。当時の写真や資料を展示するとともに、平和学習に取り組まれた自治・学習課学芸員太尾友香氏を招いて、「内子と戦争」について講演していただきました。戦争一色だった当時の人々の暮らしに思いを巡らせ、教育の恐ろしさを改めて痛感したという参加者からの感想もあり、戦争の記憶を風化させてはならないと再認識しました。

今後もこの研究会を通して、内子の魅力をより深く探っていきたいと思っています。

令和７年度研究会
「内子と戦争」について学ぶ会員

ローカルトピックス

風穴

東温市の上林森林公園にある「風穴」は、その類まれな自然現象の価値が認められ、令和７年に国の登録記念物に選定されました。

この岩穴からは、年間を通してほぼ一定の冷たい風が吹き出し続け、特に夏場は、天然のクーラーとして多くの人々に涼を届けています。

夏には、外気の高温多湿な空気と岩穴の冷風との温度差によって、周囲一帯が白い霧に包まれます。その神秘的な光景が訪れる人を魅了する東温市のパワースポットです。また、その冷気を利用して、通常は高山に咲く「ヒマラヤの青いケシ（メコノプシス）」が６～７月頃に咲き誇ることでも知られ、登山客や避暑客で賑わいます。

ぜひ、神秘的な情景を味わいに「風穴」を訪ねてみてください。

（愛媛文教月報編集協力委員　坪内　英樹）

大切なお品物は実績と信頼の清水屋クリーニング

SHIMIZUYA　株式会社 清水屋
Alterations & Cleaners

竹原工場　松山市竹原３丁目13-11　(〒790-0053) 電話(089)941-7388(代)
高井工場　松山市南高井1701　(〒791-1112) 電話(089)976-1511(代)
大洲工場　大洲市徳森字小鳥越1254　(〒795-0061) 電話(0893)25-5971
(株)シンワ機工　松山市南高井1701　(〒791-1112) 電話(089)976-6688
松山サービス　東温市吉久311-1　(〒791-0302) 電話(089)966-6866
東温市田窪41-12　(〒791-0212) 電話(089)955-1570

特集

本とわたし

私の人生のバイブル3冊

新居浜市立大生院小
校　長
丸山　律子

私の読後の人生に、深い影響を与えることになった本が3冊ある。読書に悩んでいた私にと、母が当時の同僚から譲り受けてくれた本だ。

1冊目は、三浦綾子著の『塩狩峠』。感情移入しやすい私は、心の琴線に触れると喉の奥がきゅっと詰まって泣いてしまうのだが、この本は泣かずに読めた試しがない。小学5年生で初めて読んだときの衝撃は大きく、何度読んでも読後に強い葛藤が残る。一度読むとしばらく手に取れないのに、時間を置いてまた開いてしまう不思議な1冊だ。

2冊目は、曽野綾子著の『太郎物語(高校編)』。当時の私の日常からは想像もつかない世界にひかれ、さばさばとした親子関係に新鮮な衝撃を受けた。中学1年生という思春期真っ只中に読んだこともあり、当時の複雑な心情にそっと寄り添ってくれた。

3冊目は、星野富弘著の『愛、深き淵より』。口にくわえた筆で描かれた詩画の力強さと、そこにつづられたエピソードに言葉を失った。何度も読み返し、星野さんの他の著作を読み広げるきっかけにもなった。

今回改めて読み返してみて、この3冊が私の生き方や物事の捉え方、さらには自身の子育ての随所に息づいていることを再確認した。本との出会いは、時に人生をそっと変えてくれる。そんなかけがえのない3冊に出会えたことを、心から幸せに思う。

植物図鑑

西条市立西条西中
校　長
渡部　晋二

学校の図書館で、「植物図鑑」という本が目に留まった。小説のコーナーにあるのを不思議に思って開くと、絵や写真はどこにもなく、行き倒れた青年を主人公が助ける場面から始まる恋愛物語だった。二人は、週末ごとに身近な野草を摘みに出掛ける。道端の野草も青年の手に掛かると、驚くほどおいしい料理に変わり、主人公は心身ともに癒されていく。作中の野草の知識や料理描写は目を見張るほど豊富で、読み進めるうちに私自身も足元の草花に自然に目が向くようになった。これまで何気なく通り過ぎていた道端の風景が、急に鮮やかな色彩をもって迫ってきた気がした。

中でも、「雑草という名の草はない」という青年の言葉にはハッとさせられた。雑草とは人間の都合による呼び名であり、どの野草にも固有の名前や特徴がある。それらを知ることで、日常の景色や季節の移ろいをより深く感じられる。その眼差しは人間にも重なる。一人一人に名前と個性があり、等しく尊重されるべき存在なのだ。自分に自信がもてなかった主人公は、青年の野草に対する視線を通じて、自分という存在の価値に気付き、少しずつ前を向いていく。

思いがけず出合った1冊の小説は、足元の小さな命に目を向ける愛おしさと、自分自身を大切にする誇りを私に教えてくれた。日常の景色を愛おしく変えてくれたこの作品、そして、作者の有川浩(ひろ)先生との出合いに、心から感謝している。

お得な引越のご案内

愛媛県学校生協は（株）サカイ引越センターと提携をしております。
学校生協組合員様とそのご家族の方の引越は、引越の基本料金から
２０%割引いたします。

お見積りは無料です

株式会社
サカイ引越センター
まごころこめてあつきあい

お問い合わせは
愛媛県学校生活協同組合連合会
電話(089)925-0555
または　郡市学校生活協同組合

図書館へ行こう

松山市教育会
ＯＢ
重松　純夫

私は北条図書館をよく利用している。退職してから時間に余裕ができ、本を読む楽しさを改めて感じるようになった。図書館には多くの本があるが、その中でも健康に関する本、調理の本、旅行の本をよく借りている。

健康に関する本では、食事や運動など、毎日の生活に役立つことを学んでいる。年齢を重ねるにつれて健康の大切さを感じるようになり、体に良い食べ物や簡単にできる運動について書かれた本を読むことが増えた。読んで終わりではなく、良いと思ったことはメモをして生活に取り入れるようにしている。野菜を多く取ることや適度に体を動かすこと、十分な睡眠を取ることなど、すぐに実践できる内容も多く、とても参考になっている。

また、調理の本を見るのも楽しみの一つである。簡単でおいしく作れる料理や酒のつまみになる料理の本をよく読んでいる。実際に作ってみると家族にも喜ばれ、料理をする楽しさも広がった。

さらに、旅行の本を読むことも好きである。日本各地の景色や温泉、名物料理などを見ていると、実際に行ってみたくなる。本を参考に旅行の計画を立てる時間も楽しく、新しい発見につながっている。

このように、本は私の生活を豊かにしてくれる大切な存在である。これからも図書館を利用しながら、さまざまな本に親しんでいきたい。

本と暮らす

宇和島市立城北中
教　諭
村下　裕美

最近増えてきている電子書籍は便利なもので、どこかに出かけてふと本を読みたくなったときにはとても重宝する。とはいえ、読んで楽しいのはやはり紙の本だろう。

本屋に行って実際に本に触れ、表紙の装丁や帯から中身を想像しながら本を選ぶ時間のなんと楽しいことか。本を開いたときに鼻をくすぐるインクの匂い、紙の質感、ページをめくる音、腕にかかる少しの重み。本を読んでいるという実感が全身に湧いてくる。そして、現実を忘れ、本の世界に入り込む。読み終わってふと我に返ると、日付が変わっているなんてこともよくある。

読み終わった本たちは、20年以上前から使っている大きな本棚へと収められる。それは、さながら宝箱のようなものだ。別に読まなくてもいい。眺めるだけ、飾っておくだけでも楽しいし、心が満たされる。何度も繰り返し読んだ本、まだ一度も読んでいない本。その時々の自分の関心や思いの詰まったお気に入りが、何年もかけて積み重ねられていく。今では、増えた本棚にも収まりきらない本が部屋中にあふれているほどだ。

私にとって、本はいつでも手の届くところにあり、日々の生活の中にちょっとした彩りを与えてくれる、なくてはならないものだ。この瞬間も、そしてこれからも、本は私のそばにあり続けていくのだろう。

文教俳句

－俳句ポストより－

梅雨満月今日のひと日の穏やかに　松山市　池田　容子
初蟬や近づいてくる講習日　松山市　池田　容子
苔玉に初挑戦の夏休み　松山市　三谷　美貴
夏の空想い出しみる里帰り　神戸市　岩崎　悠奈
密漁禁止札高波の遍路道　東京都　彦根　伸広
補聴器に拾ふ風鈴の音色　松山市　遠藤　節子
抜け殻は出発（たびだち）の時朝の蟬　松山市　遠藤　節子

自動車大口団体割引保険のおすすめ

学校生協組合員様は、現在ご加入の自動車保険無事故割引から16%割引、一括払でさらに5%割引になります。
保険料のお支払は給与引去となります。
教員ＯＢの方も口座振替（一括払）で適用されます。

－引受保険会社－
東京海上日動火災保険（株）
三井住友海上火災保険（株）
損害保険ジャパン（株）

お問い合わせは
愛媛県学校生活協同組合連合会
電話（089）925-0555
保険事業部担当まで

エスポワール愛媛文教会館
会議も。研修も。宿泊も。
Instagram フォロワー 4,000人超！
積極的に情報発信中
Instagramはこちら
会議・研修・宿泊にご利用ください
教育会会員は会員価格でご利用いただけます
ご予約はお電話で
TEL 089-945-8644
FAX 089-932-0380

誌上インタビュー

教育長さんこんにちは

西予市教育委員会
山住（やまずみ）　哲司（さとし）　教育長

○プロフィール

西予市職員として総務部門を中心に勤務し、本年３月31日をもって役職定年（総務部長）により退職しました。４月１日から現在の職に就き、新たな責務を担っております。

○教育長就任からの気持ちや取組

教育部門での経験は、若手の頃に社会教育や埋蔵文化財行政に若干携わった程度で、学校教育に関する知識や経験はほとんどありません。そのため、不安や戸惑いを抱えながらも、教育長という職責の重さを日々実感し、一つ一つの課題に向き合っています。

西予市は、海抜０ｍから１、４００ｍまでの標高差と５１４㎢という広大な面積を有し、豊かな自然と多彩な地域文化に恵まれた魅力あるまちです。

一方で、人口減少や少子化が急速に進み、学校施設の老朽化も大きな課題となっています。

こうした状況を踏まえ、現在、中学校の再編に向けた検討を進めています。学校再編は、子どもたちや保護者、教職員、そして地域の皆様にも大きな影響を及ぼす重要な取組です。丁寧な対話を重ねながら、ご理解をいただき、子どもたちにとってより良い教育環境の整備を目指してまいります。

また、部活動の地域展開についても、学校部活動から地域クラブ活動への円滑な移行に向けた取組を進めています。受け皿となる地域クラブ認定制度の構築や体制整備など、先進事例も参考にしながら、西予市の実情に合った持続可能な仕組みづくりに努めています。

本市の財政は非常に厳しい状況にあり、現在、「西予市財政危機脱却プラン２０２５」に基づき、抜本的な行財政改革に取り組んでいます。人口減少に伴う様々な課題が山積する中、真に必要な施策や事業を見極める一方で、将来を担う子どもたちへの投資は、厳しい状況だからこそ着実に進めなければならないと考えています。現状と将来を見据え、子どもたちの輝かしい未来を支える最適な教育環境づくりに全力で取り組んでまいります。

○子どもたちのよいところや課題等

西予市の子どもたちは、豊かな自然や地域文化の中で育まれ、明るく素直で、元気にあいさつができるたくましさをもっています。

一方、小規模校が多いことから、多様な人間関係や活動の選択肢が限られるという課題もあります。しかし、ＩＣＴを活用した外部との交流などを通して、少人数であっても広い視野や多様な価値観を育むとともに、西予市の環境や地域とのつながりを生かした体験活動を通じて、ふるさとに誇りをもち、心豊かに成長してほしいと願っています。

○健康維持のためにしていること

日常的な運動習慣はありませんが、柚子を少し栽培しており、畑の手入れを続けています。農作業で汗を流すことが、健康維持にもつながっているように感じています。

○教育会の会員へのメッセージ

愛媛の未来を担う子どもたちのため、日々教育活動にご尽力いただいている皆様に、心から敬意と感謝を申し上げます。

豊かな経験と知見をおもちのＯＢ会員の皆様と、教育への情熱にあふれる現職会員の皆様が互いに力を合わせ、それぞれの経験や思いを次の世代へつないでいただくことで、愛媛の教育が更に発展していくことを心より願っております。

令和八年度　九十九歳・八十歳慶祝者

白寿・傘寿おめでとうございます。記念品とご祝詞をお贈りしました。ますますのご健康とご多幸をお祈りいたします。

《九十九歳慶祝者》（15名）

四国中央教育会（1名）
河村スミ子様

西条教育会（3名）
村上　義一様　十亀クニ子様
山内　秀敏様

東予周桑教育会（1名）
伊佐芹尭子様

松山市教育会（3名）
岡井　純様　井上　正志様
田中　博様

大洲市教育会（3名）
中野　覺夫様　吉岡　哲様
河合　芳子様

内子教育会（1名）
重岡　愛子様

西予教育会（1名）
大塚　裕子様

北宇和教育会（1名）
山下　健一様

南宇和教育会（1名）
山下　等様

《八十歳慶祝者》（66名）

四国中央教育会（4名）
佐藤　睦枝様　石津　道大様
石村　妙子様　梶原　伸子様

新居浜教育会（5名）
高砂美津子様　三原　昇様
山本　光博様　白石　繁行様
横山　泰茂様

西条教育会（2名）
曽根　康代様　伊藤　利子様

東予周桑教育会（6名）
近藤八重子様　新居田定之様
渡部佳奈子様　黒河シゲ子様
伊藤多鶴子様　月岡　邦子様

今治・越智教育会（7名）
尾上　眞一様　眞鍋　力子様
越智　俊也様　小澤　昇子様
小澤ヨシ子様　今岡　慶三様
山内ルミ子様

松山市教育会（10名）
三好　和夫様　重松　和栄様
竹内　純子様　菊池　晶子様
田中　務様　高田　壽美様
平野　素美様　髙谷　宏様
田村久美子様　久光ユク代様

東温市教育会（1名）
篠﨑　英子様

伊予教育会（6名）
松上　豊様　宮﨑　澄子様
丸山　正治様　亀岡マリ子様
渡邉　博隆様　小松ヒトミ様

大洲市教育会（6名）
土居　義彦様　神徳　澄子様
久保田敏幸様　鎌田　淳子様
池田恩四郎様　上鍛冶園恵様

内子教育会（2名）
寺岡　博様　佐伯　惇之様

八幡浜教育会（5名）
渡辺　喜和様　中村　順子様
平田　初子様　野本　益市様
佐藤二二男様

西予教育会（7名）
中井富貴子様　浅野　イシ様
山本クニヨ様　宮本　岩夫様
宇都宮義紹様　芝　昭彦様
菊池　英輔様

宇和島教育会（1名）
西蔭　京子様

北宇和教育会（2名）
新田　正人様　二宮　祥充様

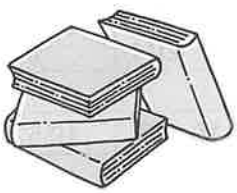
南宇和教育会（2名）
安岡　昌彦様　田村　茂雄様

（氏名は順不同）

祝　受章おめでとうございます

◇瑞宝双光章（高齢者叙勲）

桝原　義宣様　88歳　元大洲市立肱東中学校長　大洲市



ふるさとスケッチ　No.502

旧讃岐街道と坂本家住宅

東温市立川内中
校　長
渡部　和寛

東温市川内地区町筋の旧讃岐街道（金毘羅街道）。右手には、令和８年７月に国の登録有形文化財（建造物）に答申された坂本家住宅の主屋がある。街道はこの先左に折れて急坂となり、川上神社前を横切って桜三里に向かう。

この町筋と呼ばれる街道沿いには商家が多く、昭和の初めには映画館もあって、東温地区一番の繁華街であった。

坂本家住宅の角を右に曲がると正面が川内中学校。ここは、朝夕、川中生が通う通学路でもある。

ご冥福をお祈りします

安藤　豊様	95歳	新居浜市喜光地町一―一―三八	８・７・22
芝田　寿仁様	61歳	北宇和郡鬼北町近永一四七七	８・７・23
林　寛道様	79歳	喜多郡内子町重松甲三六	８・７・29
米子　達雄様	91歳	宇和島市吉田町本町四―一	８・７・31
岡本　和子様	101歳	松山市勝岡町二五三	８・８・24

愛媛県教育会会員数（内訳表）

令和８年度の会員数が確定しましたので、お知らせします。

R８：令和８年７月31日現在
R７：令和７年７月31日現在

地区教育会	現職会員		退　職		賛助会員		計	
	R ８	R ７	R ８	R ７	R ８	R ７	R ８	R ７
四国中央	441	443	177	200	49	48	667	691
新居浜	516	535	280	300	43	46	839	881
西　条	279	278	133	144	1	2	413	424
東予周桑	291	283	154	166	22	22	467	471
今治・越智	784	781	344	364	45	46	1,173	1,191
松山市	1,918	1,925	692	745	22	22	2,632	2,692
東温市	168	165	62	66	9	9	239	240
伊　予	455	442	170	187	119	123	744	752
上浮穴	70	73	53	55	13	15	136	143
大洲市	236	257	171	185	6	7	413	449
内　子	124	122	61	61	11	11	196	194
八幡浜	163	181	144	162	17	18	324	361
西宇和	70	76	47	45	11	11	128	132
西　予	208	209	183	200	51	52	442	461
宇和島	356	378	181	197	31	55	568	630
北宇和	112	114	61	65	31	32	204	211
南宇和	116	122	137	141	35	38	288	301
附　属	85	83	0	0	8	8	93	91
県教育会	0	0	0	0	204	204	204	204
県　外	0	0	0	0	1	1	1	1
計	6,392	6,467	3,050	3,283	729	770	10,171	10,520

※ 退職会員数は、会費納入者数＋特別会員数

参考　R６　10,789